

個別最適な学び研究部会 授業実践

令和4年10月7日 メイプル2組 授業者：清野 里奈

教科：自立活動 単元名：身体と心を鍛えよう 本時：2 / 15

単元の目標：自分の苦手な課題や得意な課題に取り組み、集中力や認知能力を鍛える。

1 部会の目標(特別支援学級)

多様な手段を知り、意欲を持って粘り強く取り組み、振り返りをできる児童を育てる。

2 本時の学習について

(1) 児童の実態

- 児童は苦手な課題になると、取り組めず、集中力の持続が難しい。
- 発達検査にばらつきが大きく、得意な課題と苦手な課題が顕著にある。
- ICT機器への興味・関心が高く、クロムブックを使用した活動に意欲的に取り組んでいる。

(2) 目指す児童の姿

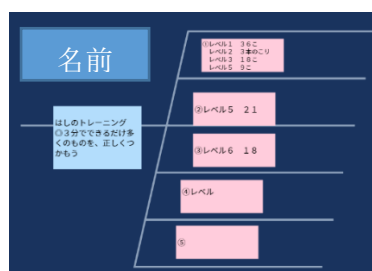
- 個々の実態に応じた課題に取り組むことで、日常生活における困り感を克服・改善しようとする姿。
- 自分で課題を選択し、指定の時間内集中して課題に取り組む姿。
- 自分の得意・不得意を考え、苦手な課題にも挑戦する姿。

(3) これまでの取組

- ロイロノートを利用し、自分の得意な入力手段を選択し、自分の意見を表現したり、学習のまとめを行う。
- 作品をロイロノートで共有し合う。
- 学習アプリ Qubena を利用し、学習の復習を行う。
- 音読を録音し、客観的に自分の音読を聞く。

3 授業における手立て

- WISC-IVの結果を基に、児童の認知面における得意不得意を把握し、ことばの力(言語理解)/見る力(知覚推理)/聞く・覚える力(ワーキングメモリー)/すばやさ(処理速度)の各項目の苦手感に応じた課題を提示し、問題を選択して取り組めるようにする。
- 4項目のプリントの中から自分で選択して課題に取り組む。
- ロイロノートで取り組みを記録し、担任が取り組み状況をグラフにして児童に返却する。
- 記録することで、どの力が身についているか視覚的に見えるようにする。



はしのトレーニングの記録



ふりかえりカード

4 成果○と課題●

- はしの訓練では、指定した時間集中することができた。自分の成果を記録していくことで、前回の記録と比べたり、新しい課題に挑戦したりといった姿が見られた。
- 自分の得意な力や苦手を意識して、プリントを選択することができた。
- プリントに取り組んだ分、グラフや表に記録することで、頑張りが見え意欲的に学習に取り組むことができた。
- 上の学年の児童が低学年のクロムブックの扱いのサポートをするなど協力し合う姿が見られた。
- 個々の能力に適したプリントを児童が選択できていたか課題が見られた。個人のファイルを作成し、その中から選択するなど、より個の力によりそった支援をしていく必要がある。
- 交流学級などで、授業を受ける回数に個人差があったため、自立活動の時間の設定を工夫していく必要がある。